

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 認定

# 回復期セラピストマネジャーコース



2026 年度開講

## 第 16 期 開催のご案内

<重要：必ずご確認ください>

①1 クール・5 クールのみ、「会場開催」といたします。  
全ての日程、開催場所につきまして、必ずご理解・ご了承の上、  
お申し込みをよろしくお願い申し上げます。

②2026 年度より、「先着順」ではなく、現在マネジメント業務を担っている、  
またはリーダーとしての役割が求められている方を優先し  
ご参加頂く形に変更になります。  
申込の際にご入力頂きました内容を総合的に判断し  
受講可否を決定させて頂きますので、ご理解の程、  
何卒よろしくお願い申し上げます。

**一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 主催  
2026年度 回復期セラピストマネジャーコース  
第16期 開催概要**

多職種のスタッフがチームを組んで自宅復帰を目指す回復期リハ病棟においては、病棟におけるマネジメントは重要な課題です。

本会では、この課題解決に向けて、病棟マネジメントにもセラピストが積極的に関わるべきであると考え、2011年度より「回復期セラピストマネジャーコース」を開講いたしました。以下の目的に沿った、17日間に亘る経験豊かな講師陣による充実した講義を受講でき、大変有意義なコースです。

**目的:**入院患者及びその家族に対する質の高いリハビリテーションサービスの提供は当然のこと、人的・環境的リスクに関するリスク管理及び多職種との協働、さらに病棟運営に寄与し組織管理を実践できる回復期リハビリテーション病棟におけるセラピストマネジャーとしてのPT・OT・STを育成すること

**認定証:**要件を満たした者に対して、回復期リハビリテーション病棟協会会長名で認定証を交付します。

**できるだけ多くの会員病院様にご参加いただきたく、原則として1病院より2名までの「申込」とさせていただきます。**

### 開催概要

#### ①開催期間

**※1・5クールは会場開催(ハイブリッド開催ではございません)、2~4クールはWeb開催とします。**

第1クール(2日間):2026年6月2日(火)~6月3日(水) :会場開催

第2クール(4日間):2026年7月7日(火)~7月10日(金):Web開催

第3クール(5日間):2026年8月17日(月)~8月21日(金):Web開催

第4クール(4日間):2026年9月15日(火)~9月18日(金):Web開催

第5クール(2日間):2026年10月15日(木)~10月16日(金):会場開催

試験日:2026年11月4日(水)

\* 試験は、各都道府県の外部試験会場にて、各自受講頂く形式(Web)になります。詳細は

第1クール開講後にお知らせします。

\* 各日、開講科目によって、開始時間、終了時間共に異なります。(基本:AM9:00頃~18:00頃予定)

予めご了承頂き、お申し込みください。

#### ②定員:150名(先着順ではありません)

#### ③開催方法

##### <会場開催:1クール、5クール>

**※ハイブリッド開催ではございません。全員会場でご参加頂きます。**

会場名:AP 東京八重洲 (<https://www.tc-forum.co.jp/ap-yaesu/access/>)

住所:〒104-0031 東京都中央区京橋1-10-7 KPP 八重洲ビル

##### <Web開催:2クール、3クール、4クール>

※ZOOMを使用し開催いたします。上記期間、プログラムにあわせて受講者の皆様は、ZOOMへ入室頂きご参加頂く形になります。

※講義は、講師の先生のご都合等により「事前録画」または「リアルタイム講義」を選択頂き

上記期間、ZOOMにて配信をさせて頂く形になります。なお、「事前録画」の場合も、質疑応答については、リアルタイムにて講師の方にZOOMに参加頂き、受講者の皆様の質疑に対応頂く予定です。

##### <注意事項:必ず以下ご確認ください。>

①当日の受講者様のネット環境や機材トラブル等が発生した際については、協会では保障いたしかねます。

②当日は、可能であれば、「有線接続」を推奨します。無線接続(Wi-Fi)の場合は、遅延、画面のフリーズ、オーディオ音質が悪い、またはZOOMミーティングが切断される問題が発生する可能性がございます。

③各受講者1台のPCでZOOMを通じて参加する必要があり、他の受講者とともに1台のPCで受講することは

認められません。(※携帯電話やタブレットでの受講は禁止です。必ず室内で受講して下さい。)

※プログラムや詳細の連絡は、確定次第、ご連絡します。(第1クールの約2ヶ月～1ヶ月半前を予定)

## 2026年度研修費用:200,000円

※自己都合によるキャンセルは、キャンセル料がかかります。当会ホームページ「学ぶ」のページよりキャンセル規定についてお読みください。

※17日間の研修受講料・認定証授与式代等を含みます。

## ④応募要件:次の①～⑦の要件をすべて満たしている者＜必ず事前にご確認をお願いします＞

①PT・OT・ST 協会の会員いずれかに所属

②本会会員施設に所属

③療法士免許取得後実務経験 8 年以上(第1クール初日時点)

④回復期リハ病棟実務経験 1 年以上(第1クール初日時点)

⑤施設長、または上司の推薦

⑥本認定セラピストの趣旨を理解し回復期リハビリテーション病棟の質向上に対し強い意志を有する

⑦全研修日程を通して参加する(遅刻・早退・中抜けは認められません)

注1 現在、回復期リハビリテーション病棟に所属していることが必要です。

注2 申込みされる前に、必ずキャンセル規約、認定規約および運営細則をお読みください。(別添)

## ⑤申込方法・受講結果＜必ず事前にご確認をお願いします＞

(1) 申し込み方法 \* 受付期間:2026年2月17日(火)11:00～2026年3月2日(月)23:59まで(申し込み期間の延長は予定しておりません)

当協会の「研修会 WEB 申込システム (<https://rehabili.my.site.com/member/s/>) より申込受付をお願いします。(研修会システムは、当協会ホームページからも確認可能です。)

システム申込完了後に申込担当者メールアドレスに必ず受付完了メールが届きます。メールをもって、正式に受付完了となりますので、届かない場合は必ずご連絡ください。

### (2) 申し込み後の審査

・上記受付期間終了後に受講審査を行いますので、受講可否連絡までお待ち頂きますようお願いします。受講可否連絡は、2026年3月末までにFAX(病院宛)にご連絡します。

・審査は、「先着順」ではございません。

現在マネジメント業務を担っている、またはリーダーとしての役割が求められている方を優先させて頂きます。申込の際に現在の「職位」「業務管理範囲」等をご入力頂きます。

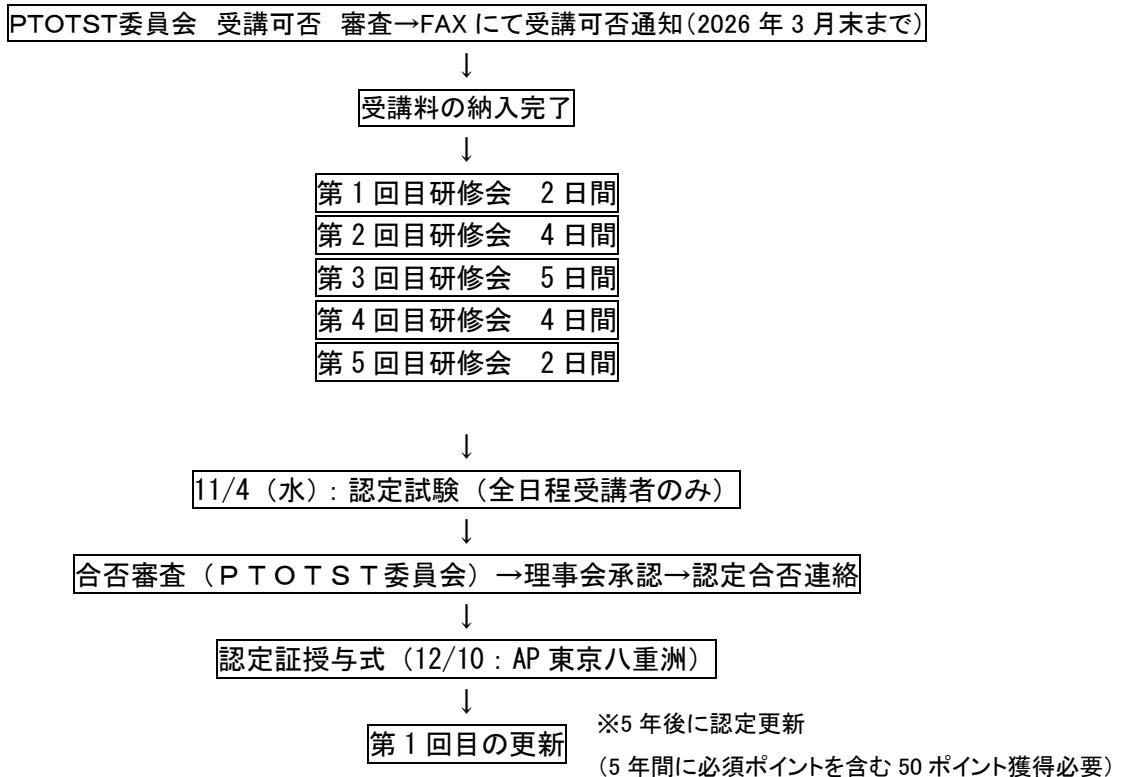
審査は、申込の際に入力頂いた内容を総合的に見て、判断させていただきます。審査結果通知後の審査結果についての問い合わせには、いかなる理由があってもお答え出来かねますので、予めご理解の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

＜重要:申込前の事前準備＞ \* 文字化けの原因になりますので、環境依存文字は使用しないでください。

・「応募理由(受講の動機、認定後の意向)」、「上長推薦理由」につきまして、それぞれ 250～300 文字程度で上記システムに入力をお願いします。(事前に Word 等で作成しておき、システムにコピー＆ペーストすることをお勧めします) 申込前にあらかじめ上長に推薦をしてもらった上でお申し込みをお願いします。

・推薦者の役職、お名前の入力も上記システムに入力が必要ですので、重ねてのお願いになりますが、必ず、病院内で推薦を頂いてからお申し込みをお願いします。

**参考:回復期セラピストマネジャーコース 認定までの流れ**



**参考プログラム：回復期セラピストマネジャーコース 2025年度15期 講義実績  
(敬称略・順不同)**

※2025年度15期の実績ですので、2026年度は予告なく変更になる場合があります。

講義タイトル	講師姓	講師名	講義タイトル	講師姓	講師名
回復期リハビリテーション病棟の現状と課題	菅原	英和	地域リハビリテーションⅠ	大田	仁史
回復期リハビリテーション病棟協会 セラピストマネジャーの意義	井手	伸二	リハビリテーション科専門医の役割	園田	茂
グループワーク「セラマネコース受講で取り組みたいこと」	PTOTST委員会		回復期リハ病棟におけるSTの専門性	森田	秋子
回復期リハ病棟における療法士の基本1「セラピスト10か条②③」	山中	誠一郎	脳外傷の理解	中村	俊介
回復期リハビリテーション病棟の歴史と意義	岡本	隆嗣	リハビリテーション医療に必要な運動学	大高	洋平
グループワークⅠ(10か条)	PTOTST委員会		人づくり～医療現場での教育・育成～	下田	静香
回復期リハ病棟における療法士の基本4「セラピスト10か条⑦」	後藤	伸介	看護師の役割	一宮	楨美
回復期リハ病棟における療法士の基本2「セラピスト10か条④⑧」	酒井	太郎	メンタルヘルスケア対策	中川	智子
地域包括ケアシステム推進に向けたPT・OT・STの役割	川越	雅弘	グループワークⅡ(5か条)	PTOTST委員会	
ICFIに基づいた課題抽出と目標のあり方	菅原	英和	病棟マネジメントと業務改善	池田	吉隆
回復期リハ病棟における療法士の基本6「セラピスト10か条⑩」	渡邊	光子	管理栄養士の役割	屋代	朋子
嚥下障害	椎名	英貴	マネジメントにおけるデータ管理	山本	恵仙
転倒・転落の考え方と対策	宮坂	裕之	障害受容に関する理論	栗生田	友子
リハビリテーションマインド	浜村	明徳	心疾患の理解	森嶋	克昌
障害者のリハビリテーションと社会制度	菊地	尚久	介護福祉士の役割	磯部	香奈子
脳卒中の理解	宮井	一郎	脊髄損傷の理解	土岐	明子
リハの目標設定とインフォームド・コンセント	小泉	幸毅	通所リハの本質と今後のあり方	近藤	国嗣
回復期リハ対象の運動器疾患の理解	西村	一志	障害者・高齢者の生活再建と社会復帰	澤	俊二
自施設に活かす医療安全管理	山上	潤一	地域リハにおける災害リハビリテーション	栗原	正紀
病棟運営の基本～協働～	佐藤	浩二	地域リハ広域支援センターにおける療法士の役割	渡部	祐介
認知症・せん妄の理解と対応	桑田	美代子	住宅改修とテクノエイド	河添	竜志郎
終末期ケア	桑田	美代子	歯科・口腔のリハビリテーションの実際	古川	由美子
体験発表(先輩認定セラピストマネジャー)	PTOTST委員会		ソーシャルワーカーの役割	牛島	寛文
グループワークⅠ-2 リハマインド	PTOTST委員会		地域リハビリテーションⅡ	斎藤	正身
高次脳機能障害のリハビリテーション	橋本	圭司	回復期リハ病棟における療法士の基本5「セラピスト10か条⑨」	佐伯	まどか
廃用症候群とりハビリテーション	里宇	明元	回復期リハ病棟における療法士の基本3「セラピスト10か条⑥」	高岡	佐和子
チームSTEPPS～エビデンスに基づいたチームトレーニング～	渡邊	進	病棟マネジメントの実際	和田	仁美
訪問リハビリテーション	宮田	昌司	グループワークⅢ(セラマネのマネジメント)	PTOTST委員会	
回復期リハ病棟におけるPTの専門性	奥山	タ子	チームづくり～リーダーシップとマネジメント～	堅田	由美子
組織論・管理学・教育学	北浦	暁子	病棟マネジメントに必要な労務・経営・財務管理と法令順守	高橋	誠
管理者が知っておくべき現場トラブルの対処と予防	村永	信吾	マネジメント実践発表	PTOTST委員会	
回復期リハ病棟におけるOTの専門性	坂田	祥子	研修会後に取り組みたいこと・情報交換	PTOTST委員会	
生活期リハ「介護予防・日常生活支援総合事業」	霜下	和也			
日常診療に潜む倫理問題に気づき、対処するために	稲葉	一人			